

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成29年1月
児童デイサービス「ぷくぷく」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			日によって(車いすの児童が多い日)レイアウトの変更をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			事業所がバリアフリー構造になっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			スタッフミーティング以外でも、日頃から打ち合わせをし、スタッフ一人一人の意見をくみ取るよう意識している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年1度はアンケートを実施し、保護者のニーズに対応できるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			<input type="radio"/>	自己評価表を作成していたが、HP等で公開していなかった。今後は公表をする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部評価を受けていない。 今後検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人全体の研修に加え、障害に特化した研修を企画、実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			年度始めのフェイスシートと保護者面談、学校の支援計画、相談支援の計画書を合わせて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			本人の活動の様子の観察や保護者、他事業所からの聞き取りを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			担当を決め、複数人数で意見交換をしながら行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			季節の行事はある程度固定化されるが、子どもの状態に合わせて教材、おもちゃ、本などを選んでいく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日は時間が短いため、のんびり過ごす事に主眼を置いている。休日、長期休暇の際に普段できないイベントを多く入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			開始前に5～10分程度の打ち合わせを実施している。 全体の時間が取れない場合は、その都度確認しあっている。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後は送迎、清掃などを終えると退勤時間にバラツキがあるため、全体での振り返りの時間が取れていない。 送迎、清掃などで一緒にスタッフ同士で振り返りはしている。 また、引継ぎノートを作って情報共有に努めている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日記録をつけ、個別支援計画の作成に活かしている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に一度のモニタリングを行っている(状況によって早める場合もある)。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		行っている。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。 会議の回数は極めて少ない。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		適切に行えている。
	⑯	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育所、幼稚園、認定こども園での情報共有ができていない。今後の課題。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		できていない。 要請がないのが現状。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		ほとんどのスタッフが児童発達支援センターが関わる研修を受けている。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		近所の公園に出かけ、関わる機会がある。
	㉒	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	参加できていない。今後できる限り参加する。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際、必ず保護者と顔を合わせ当日の様子を伝える。会うことが難しい保護者は連絡帳や電話で情報交換をする。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	本格的なペアレントトレーニングは行っていない。
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		加算等が変わった場合は説明をして同意を得ている。

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳の文章や送迎時の保護者の表情の変化などにも注意して、必要な場合は相談にのっている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を開き、保護者同士が顔を合わせられる環境を提供している。父母会はない。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に4回、法人全体の活動を載せた通信を利用者へ送っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書面での同意を得ていなかったため、早急に対応する。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			外国人の家庭には、ふりがなをふった手紙、契約書などを用意する。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招く行事を行えていない。今後検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルは現在作成中。2月中に完成予定。 緊急時対策マニュアル、感染症対応マニュアルは、法人既存のマニュアルにぶくぶくの状態を照らし合わせて使用している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月一回、地震・火事を想定した避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人の全体研修に加え、ぶくぶく独自の研修を実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を行う対象の児童がいない。 今後の成長過程で行う場合が出てきたなら、検討する。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者に医師からの指示を受けた書類を提出していただいている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			小さなことでもヒヤリハット報告を作成し、情報共有している。